

⑦9 むつざわスマートウェルネスタウン拠点形成事業

授賞機関 千葉県 睦沢町

キーワード 「道の駅」と「賃貸住宅」の事業連携、コージェネレーションシステム、防災拠点

全建賞審査委員会の評価ポイント

道の駅と地域優良賃貸住宅との一体的な整備。地域の拠点として道の駅を最大限活用し、住宅、小電力システム等と連携して、健康、省資源・省エネルギーを目指した地域拠点を形成する事業であり、第3ステージの道の駅の形を追求、具現化する試みである点や、多数の関係者との調整が成し遂げられている点が評価された。

1. はじめに

房総半島の中央部よりわずか東南に位置する、人口7,000人弱の小さな睦沢町に、「地域活性化」「健康づくり」「定住促進」など地方創生に資する新たな町の拠点として「むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷」が、令和元年9月1日にソフトオープン、そして10月1日にグランドオープンを迎えた。

2. 事業の概要

「むつざわスマートウェルネスタウン」は、先進予防型のまちづくりの中核となる健康支援型の「道の駅」と子育て世帯を中心に高齢者世帯にも対応した地域優良「賃貸住宅」の二つのエリアで構成され、国土交通省から「重点道の駅」に選定された最新鋭施設である。

道の駅エリアには、地元産の新鮮野菜や花卉などの直売所や地元食材を使った本格的イタリアンレストランのほか、加工施設、ドッグラン、サイクルステーション、BBQ、防災広場などを整備した。また、施設内の電力は、地元の天然ガスを活用したコージェネレーションシステムを導入し、施設内の電力供給はもとより、天然ガス採取時に汲み上げた、かん水を発電した際の廃熱で加熱することで「むつざわ温泉」にも利用され、地産地消、省資源、省エネルギーに努めている。



多くの人々で賑わう むつざわスマートウェルネスタウン

賃貸住宅エリアには、2階戸建て住宅など33戸が整備され、全戸で約100名が既に入居済みとなっており、町の人口減少スピードを緩和する効果を上げている。

3. 事業の成果

開業から間もない9月9日、台風15号の襲来により、多くの電線が遮断され、睦沢町を含む千葉県の広範囲で大規模かつ長期的な停電が発生した。その様な状況下においても、本施設は自営線による地中化を行っているため、被害はほとんどなく、ガスエンジンを起動させ、道の駅や住宅に電力を供給させるとともに、周辺住民の方々へ温水シャワーや携帯電話等の充電サービスを無料提供することができた。まさに防災拠点としての機能を遺憾なく発揮し、地域貢献することができた。

地域観光や防災など更なる地方創生に向けた拠点として、道の駅第3ステージの形を具現化した施設となっており、今日では、目標を超える集客により活況を呈し、町の拠点として一躍を担っている。



台風15号により周辺は大規模停電に見舞われたが、明るく輝く むつざわスマートウェルネスタウン

4. おわりに

オープン以来、昨年の台風被害に加え、今年はコロナ禍の影響で立て続けに予期せぬ苦難に見舞われているが、「むつざわスマートウェルネスタウン」は走りをはじめたばかりである。

「むつざわスマートウェルネスタウン」は、将来を見据えた地方創生を更に加速する拠点として、利用者や地域からの更なる期待や信頼に応えていくために、果敢にも挑戦し続け、サステナブル社会の実現を後押ししていきたい。

賛助会員 パシフィックコンサルタンツ(株)